

令和元年度第1回公立大学法人大阪運営協議会 議事要旨

- 1 日時 令和2年1月31日（金曜日）午後2時30分～
- 2 場所 大阪府公館 大サロン
- 3 出席者 大阪府知事、大阪市長、
大阪府 岡本府民文化部長、大阪市 柏木経済戦略局長
- 4 議事内容

（議題）公立大学法人大阪に係る第1期中期目標の変更（案）について

- ・ 事務局から、資料1、2に基づき、中期目標変更（案）について説明。
- ・ 原案で、2月議会に提案することを決定。

（会議全体を通じての意見）

副会長（大阪市長）

- ・ 日本の若い人達の人口が減少する中で、国では国立大学の法人統合など、色々検討を進めているが、関係者などの思惑もあって、思うようにはいっていないようである。
- ・ そのような中、府大と市大が統合できることは、多くの人の想像を超えた取り組みだと思う。
- ・ 世界の大学と競争できる土台が整うと思うので、确实・完璧に2022年度の大学統合に向けた準備を仕上げ、この大学が開校して10年、20年した時に、本当に世界のトップレベルのランキングを取れるような、日本の中でも東大、京大、阪大と並べる位の大学になってもらいたい。
- ・ 議会があるが、しっかり準備して議会の議決を得て前に進めたいと思う。

会長（大阪府知事）

- ・ 関西には有名国立大学もあり、また私立大学もあるが、国立大学、私立大学ではない公立大学としての意味、本質というのをこれから是非追求してってもらいたいと思う。
- ・ 府大、市大それぞれの強みがあり、それが1つになって新しい大学としてこれから2022年に第一歩を踏み出すこととなる。
- ・ 大阪は都市として、府市が1つになって成長をめざしていくことを進めている。大阪には力を発揮できるだけの十分な土台がある。
- ・ 今、役所に欠けているところは、シンクタンク機能や、インキュベーション機能であり、これは役所ではなかなか担うことができない。
- ・ 大都市大阪が国際競争の中でさらに成長していく。また、大阪の市民、府民の皆さんが豊かに暮らしていける。新大学にはそのための知の拠点をめざしてもらいたい。
- ・ 大阪の成長や豊かさに貢献する知の拠点として市大、府大が力を合わせて新大学として大阪を是非引っ張ってってもらいたい。